



グリップヒーターHG SLIM 取り付けについて E08Z51D3RS1

適合車種：GSX-R125 (2BJ-DL33B)

このたびは、本商品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前に、本書およびグリップヒーター本体の取扱説明書を必ずお読みいただき、
いつも手元に置いて、正しい取扱方法により永くご愛用くださるようお願い申し上げます。



※パッケージ、取扱説明書の注意事項や内容を無視してご使用し、重大な事故や損害が発生した場合でも弊社は賠償等の責は一切負いかねます。

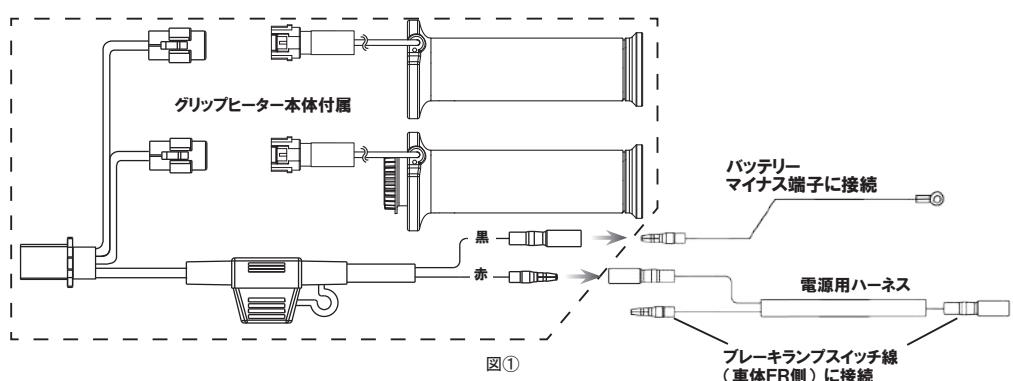
●接続する前に

車両のサービスマニュアルを参考にしてメーターカバーを取り外します。
写真①を参考にして、ブレーキランプスイッチの位置を確認しておきます。

①配線の接続について

付属している電源用ハーネスを車両のブレーキランプスイッチの端子部（車体前方側）に割り込ませて接続します。（写真①）このとき、接続部はビニールテープを巻き付けて保護しておきます。（写真②）アース線を写真③のようにバッテリーのマイナス端子に共締めします。左右グリップ、スイッチを仮接続してグリップヒーターの動作確認をしておきます。問題無く動作すれば、グリップヒーターはいったん外します。（アース線は車両の配線図をご確認いただき、車両側ハーネスのアース線に割り込ませる方法もあります。）

※付属しているアース線は様々な取り回しに対応できるよう、あらかじめ長めに設定されています。取り回しをした際に余った部分は邪魔にならないようにまとめておいてください。



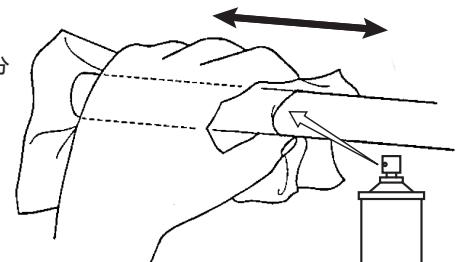
②制御スイッチの取り付け

写真④のようにハンドル操作の邪魔にならないような位置に付属のブラケットを使用して固定します。



③左グリップの取り付け（参考例）

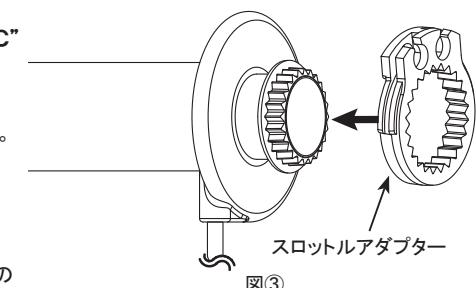
純正グリップを取り外します。純正グリップが付いていた部分に付着しているボンドをペーツクリーナーなどできれいに取り除きます。グリップヒーターの配線位置を間違えないようにグリップヒーターを差し込みます。
このとき、グリップが手で触って暖かいくらいまで仮組みで暖めておくと差し込みやすくなります。



④右グリップの取り付け

純正グリップ（スロットルパイプ）を取り外します。先にグリップヒーターに同梱の樹脂スペーサーをハンドルに挿しておきます。その後、同梱のスロットルアダプター“C”を一体型グリップヒーターに取り付けします。（図②）

このとき、アダプターはスロットルワイヤー取り付け用の切り欠きがある側を外側にして取り付けします（写真⑤）。

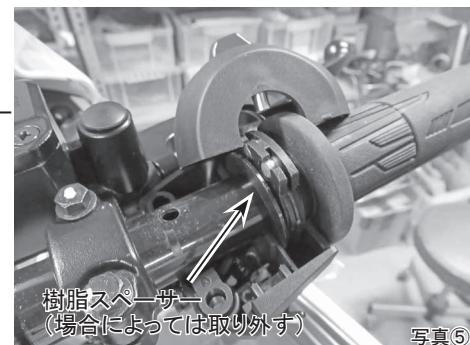


いいたん仮組みをして、スロットル操作、ブレーキ操作などを行い、各部が干渉しないかどうか確認します。
アダプターの位置を動かして、適切な位置で固定します。

また、本商品を取り付け後は必ず、スロットルケーブルの遊び調整を行ってください。

※スロットル操作が重いまたは全開後に手を離しても全閉にならない場合には樹脂スペーサーを取り外してから再度、確認してください。

（車両誤差によってはクリアランスが少なく、樹脂スペーサーが必要ない場合があります。）



●注意●

グリップヒーターを取り付ける際に、グリップヒーターのエンドをハンマーで叩いたり、グリップを強くねじったりしないでください。無理にグリップを押し込むと内部の熱線が断線してしまう恐れがありますので、絶対にしないでください。また、仮組みでグリップを暖める際に1分以上は暖めないでください。内部が変形してしまい、熱線が出てきてしまう恐れがあります。

※右側グリップはスロットルを全開、全閉にしたときに、グリップから出ているケーブルに負荷がかからないように取り付けてください。

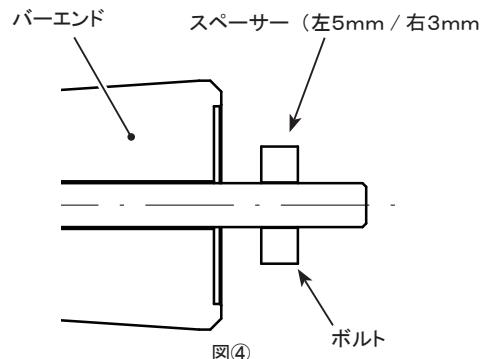
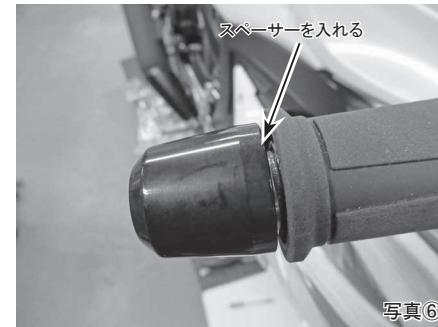
※必ず走行前にスロットルが正常に作動するかどうか手を離した状態でスロットルが確実に全閉まで戻ることを確認、点検を行ってください。

⑤バーエンドの取り付け

左右共にグリップヒーターの取り付けが終わったら、バーエンドの取り付けをします。純正グリップ長に対して、本商品のグリップは約5mm長いのでバーエンドを固定する際に付属のスペーサー（左5mm / 右3mm）を左右とも1個づつ入れてからバーエンドを固定します。

（写真⑥、図④）

※このとき、スロットル操作に問題が無いか確認して、スロットル全開状態から、手を離して確実に全閉に戻ることを確認してください。



⑥配線のまとめ

それぞれの取り付けが終わったら、車両のハーネスやスロットルケーブルなどに沿わせながら、左右グリップ、スイッチの配線を通してグリップヒーター・ハーネスのカプラーに接続します。

配線の長さが余ってしまっている部分はタイラップなどでうまくまとめて固定します。

→ハンドルを左右に動かして、ハーネスに力がかかるないないか、ハンドル操作の邪魔にならないか確認します。



⑦取り付け完了

取り外したカウルなども元に戻す前に、イグニッションキーをONにして再度、グリップヒーターの動作確認をします。問題なく温まったら、カウルを元に戻して取り付け完了です。

●構成部品●

- ・スペーサー2種・・・各1個
- ・スロットルアダプターC・・・1個
- ・電源ハーネス・・・1本
- ・制御スイッチ用ステー・・・1個
- ・アース線（ロング）・・・1本
- ・取扱説明書・・・1部



・グリップヒーター（スイッチ）の使い方はグリップヒーターの取扱説明書を参照してください。

※デザイン及び仕様変更・価格等は予告なしに変更する場合がございます。

※弊社の取扱説明書等、十分ご確認の上ご使用ください。

※弊社商品以外の保証は一切お受けできませんのであらかじめご了承ください。

※本書やWEB上でのイラスト、写真等の記載内容が本商品と異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

有限会社エンデュランス 〒350-0822 埼玉県川越市山田1726 TEL 049-222-7770 FAX 049-226-1625
endurance-parts.com

2020.03.30